



市議会議場

● 目 次 ●

第1回臨時会の開催	2
議員紹介	3
第2回定例会 主な議案のあらまし	4
代表質問から	5～9
議決結果	10
常任委員会・特別委員会だより	10～11
議長コラム・議会日誌・編集後記	12

4月の統一地方選挙を経て
新たなメンバーで滝川市議会がスタートしました
市民の皆さんから信頼される議会となるため
不断の努力を傾注してまいります

2015.8.1
No.14

第1回臨時会の開催

任期満了による市議会議員選挙後の初議会となる

平成27年第1回臨時会を開催しました。

平成27年第1回臨時会は、5月

7日から5月12日までの6日間の

日程で開催し、議長・副議長の選

挙や、議会運営委員会・常任委員

会委員の選任、一部事務組合議会

議員の選出などを行いました。

◎議長・副議長の選挙

議長・副議長選挙は、これまで

指名推選の方法により行われてき

ましたが、前期の議会改革特別委

員会で、議会改革の一環として選

出過程を透明化する中で、議会の

代表として最もふさわしい議員を

投票による選挙で選ぶこととした

ことから、5月7日の本会議で、

40年ぶりとなる投票による議長・

副議長選挙を行いました。

投票は、18人の議員がそれぞれ

無記名で投票する方法で行われ、

その結果、議長には水口典一議員

が、副議長には山口清悦議員が当

選しました。

●投票結果

議長選挙

水口 典一 8票

山口 清悦 5票

田村 勇 2票

三上 裕久 2票

柴田 文男 1票

副議長選挙

山口 清悦 11票

田村 勇 5票

三上 裕久 2票

◎議会運営委員会委員の選任

議会運営の全般について協議し、

円滑に議会を進めるための場とし

て設置される委員会です。次の委員

および正副委員長を選任しました。

委員長 柴田 文男

副委員長 渡邊 龍之

委員

三上 裕久 清水 雅人

本間 保昭 井上 正雄

小野 保之 荒木 文一

◎常任委員会委員の選任

各常任委員会の委員および正副委員長を選任しました。(委員名は10、11ページ参照)

◎議会改革特別委員会の設置

前期に引き続き議会改革特別委員会を設置し、委員および正副委員長を選任しました。(委員名は11ページ参照)

◎一部事務組合議会議員の選挙

各一部事務組合議会議員の選挙を行い、次の議員が当選しました。

中空知広域市町村圏組合議会議員

水口 典一 山口 清悦

※水口議員は組合規約による選出

中空知衛生施設組合議会議員

堀 重雄 井上 正雄

木下八重子 東元 勝己

滝川地区広域消防事務組合議会

議員 三上 裕久 本間 保昭

荒木 文一

中空知広域水道企業団議会議員

清水 雅人 山本 正信

田村 勇 小野 保之

柴田 文男

石狩川流域下水道組合議会議員

木下八重子 東元 勝己

中・北空知廃棄物処理広域連合

議会議員

水口 典一 安樂 良幸

渡邊 龍之

◎監査委員の選任

議会選出の監査委員として、田村勇議員の選任に同意しました。

◎選挙管理委員の選挙

任期満了に伴うもので、藤本清正さん、太刀川令子さん、山本佳子さん、丹羽修身さんが当選しました。

◎副市長の選任

任期満了に伴うもので、千田史朗さんの選任に同意しました。

◎教育委員会教育長の任命

新たな教育委員会制度による教育委員会教育長として、山崎猛さんの任命に同意しました。

◎教育委員会委員の任命

任期満了に伴うもので、田代雄一さんの任命に同意しました。

◎固定資産評価員の選任

前任者の辞任に伴うもので、千田史朗さんの選任に同意しました。

◎その他の議案等

補正予算に係る専決処分、市税条例改正に係る専決処分の報告を受け承認したほか、8件の議案等を可決、報告済としました。

滝川市議会議員

任期：平成27年4月30日～
平成31年4月29日

①党派 ②職業 ③当選回数 ④会派名 ⑤主な役職 (左から議席順)



三上 裕久

S33.6.2

- ①公明党
- ②自営業
- ③4
- ④公明党



堀 重雄

S25.11.1

- ①公明党
- ②無職
- ③3
- ④公明党
- ⑤厚生常任委員長



館内 孝夫

S44.11.2

- ①日本共産党
- ②団体職員
- ③1
- ④日本共産党



清水 雅人

S31.8.23

- ①日本共産党
- ②無職
- ③5
- ④日本共産党
- ⑤議会改革特別委員長



山本 正信

S28.1.13

- ①無所属
- ②農業
- ③2
- ④会派みどり



安樂 良幸

S34.5.26

- ①無所属
- ②会社員
- ③1
- ④新政会



本間 保昭

S35.11.23

- ①無所属
- ②会社役員
- ③3
- ④新政会
- ⑤総合戦略調査等特別委員長



田村 勇

S19.2.15

- ①無所属
- ②会社役員
- ③7
- ④新政会
- ⑤議会選出監査委員



井上 正雄

S18.7.31

- ①自由民主党
- ②無職
- ③11
- ④新政会



水口 典一

S41.6.18

- ①無所属
- ②会社員
- ③6
- ④会派清新
- ⑤議長



小野 保之

S20.9.24

- ①無所属
- ②無職
- ③2
- ④会派みどり
- ⑤経済建設常任委員長



渡邊 龍之

S27.4.6

- ①無所属
- ②無職
- ③2
- ④会派みどり



木下八重子

S19.5.15

- ①無所属
- ②行政書士
- ③2
- ④会派みどり
- ⑤たきかわ市議会だより編集委員長



山口 清悦

S28.10.7

- ①無所属
- ②会社役員
- ③4
- ④会派みどり
- ⑤副議長



柴田 文男

S34.7.26

- ①無所属
- ②無職
- ③4
- ④会派清新
- ⑤議会運営委員長



荒木 文一

S37.3.14

- ①民主党
- ②薬剤師
- ③3
- ④会派清新



関藤 龍也

S31.3.18

- ①無所属
- ②会社役員
- ③3
- ④会派清新
- ⑤総務文教常任委員長



東元 勝己

S27.9.13

- ①無所属
- ②会社役員
- ③1
- ④会派清新

議会開会中

第2回定例会

主な議案のあらまし

平成27年第2回定例会は、6月12日から24日までの13日間の日程で開催しました。

本定例会は、市長選挙後の初めての定例会となることから、市長から平成27年度「市政執行方針及び補正予算大綱」が、教育長から「教育行政執行方針」が説明されたほか、5人の議員から、市政執行方針等に対する代表質問を行いました。また、本年度の政策予算となる平成27年度一般会計補正予算について審議を行いました。

議決した主な内容についてお知らせします。

◎平成27年度一般会計補正予算

平成27年度一般会計補正予算（第2号）については、定例会初日に市政執行方針等とあわせて説明がされました。その後、各会派からの代表質問を経て、最終日の6月24日に質疑、討論、採決を行い、慎重な審議の結果、全会一致で可決しました。

一般会計は、歳入・歳出にそれぞれ11億2、729万6千円を追加補正し、総額209億614万7千円となりました。

補正予算に計上された主な事業費は次のとおりです。

○にぎわいのある中心市街地の再生に向けて、民間主導による再開発事業を下支えするための栄町3・13地区優良建築物等整備事業補助金7、800万円

○交通体系を踏まえた道路網の整備のための道路新設改良事業費1億196万8千円

○重症心身障がい児者通園ホームたんぽぽの家の建設助成補助金4、500万円

○スポーツセンター第1・第2体育館の耐震化を図る改修事業費2億3、340万円

○江陵中学校の武道場の耐震化を

図る改築工事費8、950万円
○小・中学校の親子給食方式を推進するための西小学校給食共同調理場等改築工事3億4、942万8千円など

◎滝川市総合戦略調査等特別委員会の設置

市が策定する「地方人口ビジョン」および「地方版総合戦略」に關し調査を行うため、滝川市総合戦略調査等特別委員会を設置し、委員および正副委員長を選任しました。（委員名は11ページ参照）

◎一部事務組合議会議員の選挙

滝川市長が組合長に就任し、次の一部事務組合議会議員に欠員が生じたことから、議員の補充選挙を行い、次の議員が当選しました。

中空知衛生施設組合議会議員

館内 孝夫

石狩川流域下水道組合議会議員

安樂 良幸

空知教育センター組合議会議員

関藤 龍也

◎請願の審議

「『平和安全法制整備法案・国際平和支援法案の徹底審議を求める要望意見書』の提出を求める請願（請願者…滝川地方労働組合総

連合ほか4団体）について、紹介議員による趣旨説明の後、2人の議員が質疑を、5人の議員がそれぞれ採択、不採択の立場で討論を行い、採決の結果、賛成少数により請願を不採択とすることに決しました。

◎条例の改正

経済・農政部門の連携強化のため、経済部と農政部を発展的に統合し、産業振興部を新設するための滝川市部設置条例の一部を改正する条例のほか、5件の条例を一部改正しました。



▲滝川地ビール

◎意見書の送付

地方単独事業に係る国民健康保険の減額調整措置の見直しを求め、要望意見書など3件の要望意見書を可決し、関係機関に送付しました。

◎その他の議案等

そのほか、空知教育センター組合規約の変更について、議員の派遣についてなど7件の議案等を可決、報告済としました。

第2回例会 代表質問から



会派清新
柴田 文男

地方創生について

質問 地方創生のために最も優先すべき行政課題は何か伺う。

答弁 人口減少に歯止めをかけるため、出生率の向上に努める必要があります。そのために、雇用の場の確保による生産年齢人口の定着や、安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりが不可欠です。

本市の特性をよく踏まえて対応したいと考えています。

質問 地方版総合戦略と財政健全化計画をあわせて策定するとのことだが、どのような視点で財政健全化計画を策定するのか伺う。

答弁 平成26年度の一般会計では、4億9千万円を基金から繰り入れせざるを得ず、財政の健全化は喫緊の課題となっています。

地方創生のための有効な施策は優先的に実施したいと考えますが、

そのためには健全な財政を維持する必要がありますが、二つの課題を車の両輪として、持続可能な市政運営の基盤を築きたいと考えています。

力強い産業と活力あるまちづくりについて

質問 総花的な印象を受ける。何に重点を置き、雇用などを確保するのか伺う。

答弁 雇用の創出と仕事づくりを大きな目標として、地元企業の育成と起業化を狙った「産業創出促進助成金制度」を大規模な予算で創設し、産業の育成支援の強化を図っています。また、農業を含む地域産業の育成に重点を置き、雇用の創出に努めていきます。

日本で最も美しい村連合への支援について

質問 江部乙地区の連合への加盟に大きな期待を持っている。地域の皆さんの理解と不断の努力が必要と考えるが、市としてどのような支援を考えているのか伺う。

答弁 今年2月に「日本で最も美しい村」江部乙協議会が加盟を申し、5月に現地審査が行われ、

「日本一の菜の花畑」や「防風林に囲まれたりんご畑」が高い評価を受けました。結果は8月末に内示があり、10月の臨時総会で正式に承認される見込みです。

加盟の承認が前提ですが、活動に対し、必要に応じて予算措置などの幅広い支援を行っていきます。

中心市街地の活性化について

質問 「栄町3・3地区再開発事業」の進展により、地区周辺の再開発の必要性が問われる。周辺商店街のあり方や再開発の今後について伺う。

答弁 今回の事業着手を契機に、大型空き店舗である旧名店ビルをはじめ、空き地、空き店舗を中心とした民間開発への波及に大きな期待を持っています。また、空き店舗などの改修費用の一部を補助する「店舗リノベーション支援事業」などを活用し、新たな中心市街地の形成に向けて引き続き支援を行っていきます。

スカイスポーツの振興について

質問 今まで無かった死亡事故は残念でならない。観光資源として

高い評価を得ているグライダーの体験搭乗は、今が最も重要な時期。しっかりと市への対応を求める。

答弁 現在、滝川スカイスポーツ振興協会では、広く運航全般にわたる安全総点検を行い、外部有識者会議を立ち上げ、対応策の妥当性について検討を行っています。市としても、外部有識者の推薦を行うとともに、協会と協議を重ね、早期再開に向けた対応を進めています。

再開時には市長みずから搭乗し、飛行の安全性をPRしたいと考えています。

プラチナタウンについて

質問 市長の思い入れがあるはず。具体的な記述がないが、なぜか。

答弁 2期目の市政運営に当たり、子ども、女性、教育に対する重点支援とともに、高齢者の皆さんが生き生きと輝き、暮らせる「プラチナタウン」が、まちづくりの一つのイメージになっています。

具体的な構想はこれからですが、都市圏から健康的な60歳代の移住を受け入れるなど、さまざまな視点で進めたいと思っています。



会派みどり
小野 保之

市長選公約について

【質問】 市長公約は大変重いものと認識する。1期目の積み残した公約について、できなかったことの検証と公約の未達成を市民に説明すべきと考えるが、見解を伺う。

【答弁】 公約の未達成については、第1回定例会でも答弁しましたが、2期目の公約と同等の扱いとして、引き続き実現に向けて検討していく考えに変わりはありません。

女性センターの設立について

【質問】 市政運営の基本的な考え方の中で、子ども、女性、教育への重点支援をあげている。女性センターの設立をさまざまな会合で話をされているが、組織、機構など、特に女性の声をどのように拾い上げ、施策に結び付けようとしているのか伺う。

【答弁】 女性センターについては、私の2期目の目標の一つとして、子育て世代や女性のために設立し

たいと掲げたところです。

現時点では、組織、機構などは具体的には決まっていますませんが、公約として説明している内容として、妊娠、出産、育児に関する施策や各所管に分かれている女性に関する窓口を一元化し、「ワンストップサービス」の提供を目指すことと、子育てを核としながら、世代を超えた女性が集い、情報交換をする場として活用できればと考えています。

農業施策について

【質問】 昨年は本市の基幹産業である水稲がコスト割れの状態で、特に農地を集積した担い手ほどダメージが大きく、本年支払われる収入減少影響緩和対策の交付金では補われない状態である。これらの取り組みについて伺う。

また、担い手対策として外部からの新規就農を考えているようだが、既存の農家を減らさない対策を考えているのか伺う。

【答弁】 国は昨年11月に、平成26年産米価下落の対応策を打ち出した。特に収入減少影響緩和対策については、未熟米の大量発生を

踏まえた補てん金への算定と運用改善が図られたことにより、各生産者への補てん金が増額になったところですが、依然として収入が減少した状況です。

平成27年産米に向けた市の取り組みとしては、所得減少の主要因である米の需給緩和を改善し、米価の浮揚を図るため、飼料用米や転作作物の作付けを推進します。さらなる農業者の所得向上を目的とした水田複合経営への誘導や高収益作物導入の推進など、農業経営基盤の強化と地域農業の活性化に努めます。

また、農業従事者の高齢化や後継者不足などにより、本市においても農家戸数の減少が懸念されており、新規就農者、農業後継者、農業生産法人の育成確保を農業振興の三本柱とし、地域農業を支える担い手を確保することで、持続可能な農業に向けた生産基盤の確立を図ります。

小・中学校適正配置計画について

【質問】 策定から5年が経過したことから、今年、この計画の見直し

を検討すること。小・中学校のあり方について種々検討されたと思うが、計画の推進には十分な地域との対話が必要と考える。課題を含め、地域の声をどのように把握しているのか伺う。

【答弁】 平成22年11月に策定した「滝川市小・中学校適正配置計画」については、5年目となり見直し作業を行っているところです。

昨年11月から今年2月まで、保護者懇談会を行って意見を伺いました。市内小学校6か所、幼稚園2か所、また、平成24年に東小学校と統合となった東滝川地区で実施し、意見を伺いました。

懇談会では、適正配置のみならず、通学区域や学校施設整備など、多くの意見、要望が寄せられました。計画の見直しに当たっては、保

護者懇談会の意見を伺いながら検討するとともに、子どもたちのための教育環境の充実を最優先とし、進めていきたいと考えています。



▲小学校の授業風景



新政会
井上 正雄

財政健全化について

質問 本市の固定的な支出の割合を示す経常収支比率が全道的に見ても非常に高い。市政執行方針に財政健全化計画の策定とあるが、いつまでに策定するのか。また、事業の見直しなど総合的に考えるべきと思うが、考えを伺う。

答弁 財政健全化計画は、来年度予算に反映できるよう年内の策定を目指します。策定に当たっては、事業効果を検証した上で事業の見直しを行い、職員数、人件費も含めて総合的に検討します。非常に重要な課題であり、慎重に取り進めていきたいと思っています。

農業を起点とした地域産業、つくりについて

質問 農業振興において、企業との連携推進をどのように進めるのか伺う。

答弁 近年、異業種からの農業参入が見られるなど、農業を取り巻

く環境が変化しつつあります。これまで、本市における産業振興、企業誘致のテーマを「食と農」に据えてきましたが、さらに雇用の場の創出を最重要課題とする地方創生の取り組みを進める上でも大きな柱となるのは農業と考えています。農商工連携を一層進めるためにも、農政部と経済部を発展的に統合し、企業との連携を進める中で雇用の場を創出するとともに、本市の基盤となる産業の育成に努めていきます。

観光振興について

質問 集客・交流事業の推進について、菜の花観光など、外国人も含めて観光客数が増加傾向にある。そういった中で、観光案内、情報発信のハード面の整備が必要と考えるが、JR滝川駅、バスターミナル、商店街へのWiFiの設置などについて伺う。

答弁 今年度の菜の花観光に12万人が訪れ、そのうち880人の外国人観光客の入り込みがあったと聞いています。今後、WiFi設置などハード面の整備を関係機関や団体と連携を図り、進めていき

たいと考えています。

スポーツセンター改修について

質問 スポーツセンター第1・第2体育館の改修について伺う。

答弁 耐震性の確保を最優先し、安心してスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、避難所機能も兼ね備えた施設に改修します。

エネルギー政策について

質問 本市はエネルギーの街である。今後、さらなる自然エネルギー、再生可能エネルギーの事業化の可能性について、①太陽光発電、②風力発電、③水素エネルギー、④バイオマス、⑤環境、エネルギーに関する研究施設の必要性について伺う。

答弁 ①太陽光発電は、固定価格買取制度の促進期間が3年を経過し、この間、本市では遊休地に4か所のメガソーラーが実現するなど普及が進みましたが、今後は条件面などから難しいと考えます。②風力発電は、江部乙町の丸加山で風況調査を行い1年が過ぎましたが、さらにもう1年調査を継続中です。③水素エネルギーは、最

近注目を浴びており、本市としても具体的な調査を始めます。④バイオマスについては、可能性は低いと考えています。⑤環境、エネルギーに関する研究施設は、本市で進める考えはありません。

國學院大學北海道短期大学部との連携について

質問 今年度の入学者が大幅な定員割れとなった。18歳人口が減少し、非常に厳しい状況を迎え、本市として短大部誘致の原点に立ち、具体的な支援策を強力に進める必要があると思うが、考えを伺う。

答弁 非常に厳しい時代を迎えており、これまでの滝川西高と短大部との高大連携や市と短大部との災害時の協力などの個別連携から、今後は今までの連携を含めた包括連携（地域振興、街づくり、人材育成、教育の質の向上、経営の安定化、教育サービスの拡大など）を締結する予定です。

地域とより密接に連携しながら、短大部の展望を開いていくことが重要であり、経済界との協力を深め、実現可能な連携を進めたいと考えています。



公明党
三上 裕久

地方創生総合戦略策定について

質問 滝川版総合戦略の策定に当たって、市長が考える本市の5年先、10年先の未来を見据えた思いを伺う。

答弁 本市の地域資源や特性を踏まえ、信念と不断の努力で20年先、30年先を見据え、安定した雇用の創出、人の流れを引き込む、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることで、時代に合った地域をつくっていきます。

質問 総合戦略策定に当たって、各階層の一般市民がテーマごとにグループ分けされた中で、一定期間討議しながら組み立てることを望むが、市長の見解を伺う。

答弁 将来を担う若者や子育て中の母親、各種団体の皆さんのご意見を伺う場を市内各所に設け、テーマを明確化し、可能な限り一定期間討議を行えるよう工夫していきます。

質問 幅広く市民の意見を取り入

れた総合戦略を策定することで、市民が主体的に未来へのまちづくりに関わっていく機運を醸成することが重要であると考えてるが、市長の見解を伺う。

答弁 多くの市民の皆さんにかかわっていただき、総合戦略の基本目標などを共有することで、みずからの参加者意識が高まることを期待します。策定段階から、市民の皆さんの意見を取り入れる機会をできる限りつくっていきたいと考えています。

産業の振興について

質問 これまで行っている情報収集活動や企業訪問活動で、新たな企業誘致や雇用の確保ができると考えているのか伺う。

答弁 これまでと同様に、他の自治体の取り組みを参考にするなど、業界の情報を得ながら、訪問活動を継続し、新たな雇用の確保のために誘致を実現していきます。

広域観光の考えについて

質問 広域観光を視野に、インバウンド（訪日外国人）観光への体制整備を図るべきと考えるが、市

長の見解を伺う。

答弁 今年の菜の花ウィークには880名以上の外国人が訪れており、対応に複数の課題が見えてきました。これらの課題を整理しながら、環境整備に努めていきます。

認知症サポーター養成講座について

質問 認知症の方が増加傾向の中、認知症の方およびその家族を支援する「認知症サポーター」の養成をどのように進めていくのか伺う。

答弁 これまでも「認知症サポーター」養成講座を年10回程度開催していますが、今後は、総人口に占める割合を全国、全道の平均値の4%を目標に掲げ、各種団体へPRを図り、充実した講座にしていきたいと考えています。

子育て環境の整備について

質問 若い母親から要望の多い、0歳から就学前の子どもが、季節や天候に左右されず、体を使った遊びができる屋内遊技場を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 現状、新たな施設を造ることは困難ですが、花月地区児童セ

ンターで実施していることも広場事業を利用していただけるよう、PRに努めたいと考えています。

効率的な行政運営について

質問 電力の自由化で全国的に新電力に切り替える自治体が増えていく。本市の公共施設の電気料金を削減するために、可能な限り切り替えるべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 今年度から運用に向け入札の準備を進めています。新電力に切り替えることでメリットがあると判断される施設から検討していきます。

新教育委員会制度について

質問 原則公開の総合教育会議には、市長も参加して重大課題を論じられると思いますが、市民の負託を受けた市長の思いを伺う。

答弁 市長と教育委員会が相互に連携し、市長が教育行政に大きな役割を担うことを重く受け止め、地域における教育の課題やあるべき姿を共有することに努め、市民の皆さんの期待にこたえていきたいと考えています。



日本共産党
清水 雅人

地方創生を目指す「地方人口ビジョン」、「地方版総合戦略」策定について

【質問】 政府のビジョンは、正社員と非正規社員の有配偶者率について「20歳代後半で約32%と13%、30歳代前半で約58%と23%と、正社員の半分以下にとどまっている。」としている。

今後の人口推移に重要な問題であり、本市の実態を数値として把握すべき。

【答弁】 国が重要視していることは認識しています。まずは国の法的整備など、国の政策に左右される側面があると考えます。特に必要性が高いデータについては、把握の方法を検討します。

【質問】 まち・ひと・しごと創生法は、「結婚・出産・育児について希望を持てる社会が形成されるよう環境を整備する。」としている。「滝川市こどもプラン」は、国と道の資料の引用だった。市民の

実態がわかるように具体的に調査すべき。

【答弁】 保護者の負担を細部にわたって把握すべきとの趣旨は理解できますが、市が独自調査する場合、相応の時間と人員が必要です。

重要度が高いと判断できれば実施を検討します。

【質問】 総合戦略における総務省の主な施策には、「地元学生定着促進プラン（奨学金の活用）」が示されている。奨学金を借りなければ進学できず、卒業と同時に数百万円の有利子負債が残る。この厳しすぎる現状を踏まえるなら、①市独自の無利子奨学金制度の復活、②給付制の奨学金制度の創設を検討すべき。

【答弁】 国の制度は、地元産業界が必要な人材に関する資格などを決め、市町村が中心となり基金を設置し、奨学金を借りた学生が地元で就職した場合、基金からの拠出で奨学金の全額または一部を免除するものです。

國學院大學北海道短期大学の存在も踏まえ、議論を深め、提案を念頭に置いていきます。

【質問】 国の制度では、「過疎集落等

を対象に、継続的な集落の維持活性化のため、日常生活支援機能の確保と地域産業を振興する取り組みをモデル的に支援する。」としている。

江部乙・東滝川地域を、この有利な交付金の対象にできないか。

【答弁】 特別豪雪地域である本市が事業主体になり、総合的な活性化プランを策定し、この地域を対象に計画することは制度上可能です。これらのことを念頭に置いて総合戦略の策定を進めていきます。

公契約条例の検討について

【質問】 市政執行方針で「力強い産業の育成・雇用の確保」とうたいながら、賃金を上げる施策がない。また、アベノミクスでは企業の利益と地方の賃金が連動していない。市として独自の賃金政策が必要。

そこで、本市の発注する事業で、積算された人件費に見合う適正な賃金が支払われているかどうか調査すべき。

また、日本共産党の調査の結果、本市の発注事業で働く労働者の賃金に、積算単価とかい離が大きい事例がある。札幌市で大きな議論

になっている「公契約条例」制定を検討すべき。

【事例】 一般廃棄物収集運搬委託業務の発注額は、2億2、684万円。積算内訳は、人件費71%、車両・保険・諸経費29%。1年を通して月曜日から土曜日までの業務で、3社合計で車両15台に33人が従事している。積算上の平均年収は408万円になるが、実際の賃金は非常に低いと聞いている。実態調査が必要ではないか。

【答弁】 公契約条例は、低入札価格による労働者へのしわ寄せ対策として、全国で12の自治体で労働報酬下限額を定めた条例が制定されています。

札幌市議会では、1年半議論されましたが、業界の反発を背景として、平成25年に否決されました。本市では入札制度の中で不良事業者排除、最低制限価格を定めるなどして、適正な労働環境確保と低賃金防止を図っています。

生活の質的環境は重要と考えますが、賃金や労働条件などは使用者と労働者が対等の立場で決めるものであり、公契約条例は現在のところ考えていません。

平成27年第1回臨時会議決結果

●選挙

◆	滝川市議会議長の選挙について	当選	水口典一
◆	滝川市議会副議長の選挙について	当選	山口清悦
◆	中空知広域市町村圏組合議会議員の選挙について	当選	山口清悦
◆	中空知衛生施設組合議会議員の選挙について	当選	堀 重雄 井上正雄 木下八重子 東元勝己
◆	滝川地区広域消防事務組合議会議員の選挙について	当選	三上裕久 本間保昭 荒本文一
◆	中空知広域水道企業団議会議員の選挙について	当選	清水雅人 山本正信 田村 勇 小野保之 柴田文男
◆	石狩川流域下水道組合議会議員の選挙について	当選	木下八重子 東元勝己
◆	中・北空知廃棄物処理広域連合議会議員の選挙について	当選	水口典一 安樂良幸 渡邊龍之
◆	滝川市選挙管理委員及び補充員の選挙について	当選(委員)	藤本清正 太刀川令子 山本佳子 丹羽修身
		当選(補充員)	山本 昇 田中良吉 高谷富士雄 石山裕子

●条例

◎	滝川市議会委員会条例の一部を改正する条例
---	----------------------

◆ 当選 ◎ 全会一致可決 ◇ 全会一致同意
□ 選任 ☆ 報告済 ★ 賛成多数報告承認 ■ 可決

●その他

◇	副市長の選任について
◇	教育委員会教育長の任命について
◇	教育委員会委員の任命について
◇	固定資産評価員の選任について
◇	監査委員の選任について
◎	議会改革特別委員会の設置について
□	常任委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
□	議会運営委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
□	議会改革特別委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
☆	平成26年度滝川市一般会計予算繰越明許費の繰越しについて
★	専決処分について(平成27年度滝川市一般会計補正予算(第1号)) 〈反対 館内 清水〉
★	専決処分について(平成27年度滝川市介護保険特別会計補正予算(第1号)) 〈反対 館内 清水〉
☆	専決処分について(調停の申立て等)
★	専決処分について(滝川市税条例等の一部を改正する条例) 〈反対 館内 清水〉
★	専決処分について(滝川市介護保険条例の一部を改正する条例) 〈反対 館内 清水〉
■	議席の変更について

平成27年第2回定例会議決結果

●選挙

◆	中空知衛生施設組合議会議員の選挙について	当選	館内孝夫
◆	石狩川流域下水道組合議会議員の選挙について	当選	安樂良幸
◆	空知教育センター組合議会議員の選挙について	当選	関藤龍也

●平成27年度補正予算

◎	平成27年度滝川市一般会計補正予算(第2号)
---	------------------------

●条例

◎	滝川市部設置条例の一部を改正する条例
◎	滝川市まちづくりセンター条例の一部を改正する条例
◎	滝川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例
◎	滝川市営住宅条例の一部を改正する条例
◎	滝川市議会委員会条例の一部を改正する条例

◆ 当選 ◎ 全会一致可決 □ 選任
☆ 報告済 ■ 賛成少数不採択

●その他

◎	空知教育センター組合規約の変更について
◎	議員の派遣について
◎	滝川市総合戦略調査等特別委員会の設置について
□	滝川市総合戦略調査等特別委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
☆	一般社団法人滝川国際交流協会の経営状況について
☆	一般財団法人滝川生涯学習振興会の経営状況について
☆	監査報告について
☆	例月現金出納検査報告について
■	「平和安全法制整備法案・国際平和支援法案の徹底審議を求める要望意見書」の提出を求める請願 〈賛成 館内 清水〉

●意見書

◎	地方単独事業に係る国民健康保険の減額調整措置の見直しを求める要望意見書
◎	農林水産業の輸出促進に向けた施策の拡充を求める要望意見書
◎	認知症への取り組みの充実強化に関する要望意見書

総務文教常任委員会

常任委員会だより

委員長 関藤 龍也
副委員長 安樂 良幸
委員 清水 雅人 本間 保昭
渡邊 龍之 柴田 文男

関藤委員長から

5月から総務文教常任委員長として、5人の委員とともに、新たな体制でスタートすることとなりました。

本委員会では、教育分野をはじめ、企画及び行財政の運営、文化及びスポーツ振興、友好親善都市及び国際交流、防災対策など、11項目に及ぶ事項について調査を行います。

少子化が進む中で、学校の適正配置などは、特に、市民、保護者の皆さんにとって大きな関心事であることと思います。

私たちは、さまざまな場面で市民の皆さんのご意見をいただきながら、切磋琢磨して議会活動にまい進してまいりますので、ご指導をよろしくお願いいたします。

厚生常任委員会

委員長 堀 重雄
副委員長 木下八重子
委員

館内 孝夫 田村 勇
水口 典一 山口 清悦

堀委員長から

私は、今期議会では、市民の福祉向上のため、厚生常任委員として頑張りたいと思っていましたが、委員長の大役を任せられ、身の引き締まる思いです。

今日の最大の課題は、少子高齢化による人口減少問題です。特に高齢化は地方において急激に進んでいます。

本市においても、65歳以上の高齢者数は、平成24年には約1万2、000人、平成26年には約1万3、000人と増加しています。この傾向は2020年にピークを迎える予想されています。

老老介護、独居世帯、認知症高齢者の増加などに対する対策等の課題が山積しています。住み慣れた地域で安心して生活することができるように、全力で取り組んでいく決意です。

経済建設常任委員会

委員長 小野 保之
副委員長 井上 正雄
委員

三上 裕久 山本 正信
荒木 文一 東元 勝己

小野委員長から

委員長となりました。5人の委員とともに、よろしくお願いいたします。

本市の財政状況が非常に厳しい局面の中、新規事業・継続事業などの見直しを含めた対応をしながら、行政とともに知恵を絞り、行動しなければならぬと思っています。

多くの事業、そして課題があります。委員会として、市民の皆さんの意見を取り入れ、委員間で協議を重ね、検証しながら、施策の新たな発想や取り組みを見出し、動く委員会として各委員とともに頑張りたいと思っています。

私の好きな言葉に、「今いるところで、今持っているものでやりなさい。」とあります。そのような気持ちで、誠心誠意取り組んでいきます。

特別委員会だより

議会改革特別委員会

委員長 清水 雅人
副委員長 山本 正信
委員

堀 重雄 安樂 良幸
本間 保昭 木下八重子
柴田 文男 関藤 龍也

設置目的

議長の諮問事項(議会改革推進)について調査研究を行う。

清水委員長から

本委員会への諮問事項は、①「市民に開かれた議会」のための議会報告会などの3項目、②「多様な議論の場を形成する議会」のための議会基本条例、委員会主義の検討(現在は本会議主義)などの8項目です。前期での議会だより発行、インターネット中継、議長選挙などの改革に続き、今期でも充実した結果を出すために、活発な議論を行っていきます。先の市議会議員選挙で投票率が低下したことや、女性の立候補者が一人にとどまったことなどを重く受け止め、全力を尽くす決意です。

滝川市総合戦略調査等特別委員会

委員長 本間 保昭
副委員長 荒木 文一
委員

三上 裕久 館内 孝夫
山本 正信 安樂 良幸
木下八重子 関藤 龍也

設置目的

本市が策定する「地方人口ビジョン」および「地方版総合戦略」に関し調査を行う。

本間委員長から

国が推進する地方創生に関して、本市は「滝川市まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、「地方版総合戦略」の策定に取り組んでいます。策定期限は、今年10月30日となっており、大変短い期間で策定しなければなりません。人口減少の解決策をはじめとする本市の未来に向けた重要な施策を決定することになります。

大変重要な使命を与えられており、各委員からの意見提案を受けながら、徹底協議によって有効な政策を策定することに全力を尽くします。

議長コラム

第2回定例会を終えて



改選後初の定例会である第2回定例会では、市政執行方針及び補正予算大綱、教育行政執行方針が提案され、審議されました。

今定例会において、滝川市総合戦略調査等特別委員会を設置しました。本年は地方創生元年であり、10月をめどに滝川版総合戦略を策定する予定になっています。

この総合戦略は、人口減少社会において、地方自治体として将来に向け、特色ある施策により、地域活性化にどのように資するか、全国で注目されています。

議会としましては、積極的に協議に臨み、市民の皆さんのご意見、ご要望を拝聴し、市政に反映できるように努めてまいります。

総合戦略策定と市政発展に向けて誠心誠意努めてまいりますので、より一層のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

滝川市議会議長

水口典一

議会目誌

(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

4. 8	第36回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。	6. 5	沖縄県名護市議会「礎之会・あけみおの会」一行10名が、滝川市公共施設マネジメント計画の調査のため、来市した。
4. 13	第37回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。	6. 8	第2回議会運営委員会を開催した。
4. 27	市議会議員当選証書付与式が行われ、終了後議員協議会を開催した。	6. 10	第3回経済建設常任委員会を開催した。
5. 7 ～12	第1回市議会臨時会が開催された。	6. 12 ～24	第2回市議会定例会が開催された。
5. 12	第1回総務文教常任委員会を開催した。	6. 12	第3回議会運営委員会を開催した。
5. 12	第1回厚生常任委員会を開催した。	6. 12	第1回市議会だより編集会議を開催した。
5. 12	第1回経済建設常任委員会を開催した。	6. 22	第4回議会運営委員会を開催した。
5. 12	第1回議会運営委員会を開催した。	6. 23	第1回議会改革特別委員会を開催した。
5. 15	新任議員研修会を開催した。	6. 24	第5回議会運営委員会を開催した。
5. 25	第2回経済建設常任委員会を開催した。	6. 25	愛知県清須市議会「清政会」一行11名が、滝川市公共施設マネジメント計画の調査のため、来市した。
5. 27	第2回総務文教常任委員会を開催した。		
5. 27	第2回厚生常任委員会を開催した。		

編集後記

市民の皆さんの負託を受けて、新しい編集委員で議会だよりを発行することになりました。今回は、各会派の代表質問を中心に掲載しています。市民の皆さんに、今後とも滝川市議会の議会活動を発信していきます。

■たきかわ市議会だより編集委員会

委員長 木下 八重子
副委員長 堀 重雄
委員 安 舘 内 孝 夫
安 楽 良 幸
東 元 勝 己

発行責任者 滝川市議会議長

水口典一

傍聴してみませんか

平成27年第3回滝川市議会定例会の開催予定日をお知らせします。

日程

9月3日(木) 本会議
9月4日(金) 本会議
9月15日(火) 本会議 一般質問
9月16日(水) 本会議 一般質問
9月17日(木) 本会議 一般質問等

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認して下さい。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048